

保護者各位

刈谷市立衣浦小学校長
桑原 操

全国学力・学習状況調査の結果について

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省より届きました。下記のとおり、調査結果の取り扱いに関する方針と本校の結果の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、個人票をお渡ししますので御覧ください。

記

1. 調査結果の取り扱いに関する方針

本校は、文部科学省及び愛知県教育委員会が示した「序列化や過度な競争とならないようにするため、文部科学省から提供された平均値等の数値そのものを公表しない」「データを分析し、改善すべき点の把握に努める」という方針に基づいて、概要を報告させていただきます。

2. 本校の結果の概要

国語	<ul style="list-style-type: none"> 本校の正答数分布は、全国や愛知県の分布をほとんどの項目で越えており、おおむね満足できる状態である。 観点別では「知識及び技能」は高い。「思考力、判断力、表現力等」の「読むこと」「書くこと」は高いが、「話すこと・聞くこと」に課題がある。 「読むこと」の中でも、物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書くことは非常に優れている。 今後は、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるような活動を行っていき、「話すこと・聞くこと」を伸ばしていきたい。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 本校の正答数分布は、全国や愛知県の分布をほとんどの項目で越えており、おおむね満足できる状態である。 学習指導要領の領域が示す「数と計算」「変化と関係」の領域はよく定着しているが「図形」「データの活用」の領域において少し課題がある。 「数と計算」は正答率が特に高く、数量の関係を□を用いた式に表すことができることと、除数が小数である場合の除法の計算をすることができている。 今後は、図形の見取り図についてよく理解してかくことや、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて説明する力をより定着させていきたい。
児童 質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 人の役に立つ人間になりたい、将来の夢や目標をもっている、普段の生活の中で幸せな気持ちになることが多いと答える児童の比率が非常に高い。 困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答する児童がもっと増えるように、相談活動に力を入れていきたい。 タブレットやICTを生かした授業で楽しみながら授業ができたり、画像や動画、音声などでより授業が分かりやすくなったと感じている。 算数や英語の授業を好きだと答える児童や、授業の内容がよく分かれると答える児童の比率が高い。 今回のテストについて、全ての問題に最後まで回答を書こうとした児童の割合が全国や愛知県よりも非常に高く、意欲的に取り組むことができていた。

※個人票の見方等について質問がありましたら、担任まで御相談ください。